

2023 年度 事業報告

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

I 資源のリユース・リサイクルを推進する事業（リユース・リサイクル事業）

1. WE ショップ星川店、天王町店を拠点にリユース・リサイクル事業をすすめ、資源の循環と寄付品の有効活用を図りました。年間売上目標額 星川店 600 万円、天王町店 610 万円としましたが、売上げ実績は 2 店舗合計 11,432,709 円で目標額の94.4%にとどまりました。

【星川店活動報告】

年間売上げ実績：5,499,670 円（目標 600 万円 目標比 91.6% 前年比 91.5%）

営業日数：231日（前年比 98.7%） 客数：6183人（月平均 515 人 前年比 94.5%）

寄付者数：1280人（新規 40 人 前年比 98.8%）

ショップボランティア延べ人数：781人（月平均65人 前年比 109%）

- 1) スタッフ3人体制でショップ運営を行いました。保土ヶ谷区社協のボランティアセンターからの紹介で、12 月にボランティア 1 名、1月にボランティア1名の参加があり、ボランティア総数も増え安定した運営に寄与、ボランティア回数も増え継続しています。スタッフ1名が12月末で退職する事になり、新たに、長年ショップボランティアをしてくださっていた方と交代しました。
- 2) カテゴリ別の半額セール、また、全品半額セールとして夏、冬、初売り、創業祭を開催しました。しかし、寄付品の減少、来店客の減少で毎月の売上が伸びず、毎月のスタッフミーティングでは月末対策について討議をしながら運営をしています。
- 3) 資源を生かす取り組みとして、前年度に引き続き、廃油の回収、羽毛の回収を実施しました。電話での問い合わせも増えています。
- 4) 「着物、帯、和装小物」の着物コーナー常設化も 3 年目を迎え、月 1 回着物アドバイザーによるマネキンへのモデル着付けと来店者への適切なアドバイスが好評です。一方で着物の来店者が減少し、売上を伸ばす為に 8 月の夏セールで夏きもの、反物、小物、七五三着物も半額とし、10 月に着物ミニフェアを実施して事前に DM を送るなど対策を講じましたが、着物の新たな顧客を掴むことが難しく、これまでの常設化を見直すことが求められています。
- 5) リメイク品販売は店舗での常設と共に、昨年に引き続き WE21 主催のイベント「着物・リメイクフェア」に参加してリメイク作品をアピールしました。和布から作られた一点物のチュニックやパンツ、エプロンなどの衣類、パッチワークの手提げや布ぞうり、季節の手作り作品は変わらず高く支持されています。着物を利用したリメイク作品の「作り手」を増やす事が課題です。
- 6) 地域活性化につながる朝市街道の地場野菜販売も5年目となり、お客様に浸透し、非常に好評を得ています。
- 7) 就労支援活動として、ワーカーズ・コレクティブ協会から 2 名を受け入れました。

売上げ実績(目標)

4 月 (20)	手芸品半額 3-14 日 文具半額 17-28 日	・衣類入れ替え、循環と品出しを多くすることを意識して売上げ好調だった。	511,256 円 (50 万円) 客数 606 名 寄付 131 名
5 月 (20)	コロナ 5 類移行 (スタッフ・ボラのマスク着用は継続を推奨) 日用雑貨半額 1-12 日 子ども服半額 1-31 日 アクセサリフェア 15-31 日	・アクセサリフェアは期間を長くした効果あり。	471,690 円 (50 万円) 客数 588 名 寄付 136 名
6 月 (22)	バッグ・小袋半額 5-16 日 ガラス食器半額販売 19-30 日 ボランティアポイントカード開始 1 日	・バッグ、小袋、ポーチ類の売れ行き好調 ・天気が落ち着いた最終週で売上げ伸長 ・古布を使った暖簾を製作 ・トルコ・シリア大地震募金 10 日まで 6,783 円	518,032 円 (50 万円) 客数 592 名 寄付 115 名
7 月 (20)	衣類・浴衣半額 10-21 日 ガラス製品 生地・夏毛糸ワゴン販売 10-21 日 文具ワゴン販売 24-31 日	・ガラス製品を 22 円のシールをつけて販売 ・衣類半額はよく売れたが子ども衣類の売り方が課題。 ・浴衣は半額セットにするなど販売に工夫 ・WE21 つるみスタッフの見学受け入れ 19 日 ・JCSN 視察受け入れ 30 日	405,530 円 (45 万円) 客数 532 名 寄付 91 名
8 月 (19)	手芸品ワゴン販売 1-10 日 核廃絶キャンペーン 1-31 日 残暑に負けないセール (目標 30 万円) 28-1 日 夏季休業 11-16 日	・核廃絶キャンペーン 8 月 7 日売上げ全額寄付 17,870 円 募金 23,230 円 ・残暑に負けないセール 実績: 296,749 円 ・朝市街道休み	490,259 円 (50 万円) 客数 532 名 寄付 78 名
9 月 (18)	文具半額 4-28 日 礼服半額 19-28 日 生地半額 21-28 日	・寄付品、来客数ともに減少傾向 ・台風接近のため 8 日(金)臨時休業 ・天井工事のため 29 日(金)臨時休業	288,941 円 (50 万円) 客数 415 名 寄付 67 名
10 月 (21)	17 日(火)売上げ寄付 着物ミニフェア 24-27 日 文房具、子ども衣類半額	・貧困なくそうキャンペーン 17 日(火)売上げ寄付 26,416 円 店頭募金 9.034 円	594,305 円 (50 万円) 客数 534 名

	2-14 日 アクセサリー半額 衣類半額	23-31 日 27-11/4	フードドライブの実施 ・着物ミニフェア 147,965 円 ・アフガニスタン女性たちの学校募金 6,336 円	寄付 150 名
11 月 (20)	クリスマスフェア 干支まつり 生地 袋帯 600 円均一	6 日～ 13 日～ 24 日～ 27 日～	・子ども服半額ワゴン販売: 1-10 日 ・クリスマスフェア: 6 日～	399,689 円 (55 万円) 客数 481 名 寄付 145 名
12 月 (16)	冬季休業	23-1/4	・冬セール: 4 日(月)～8 日(金)全品半額 目標: 30 万円 実績: 315,091 円 ・冬季休業: 23 日(土)-1 月 4 日(木)	489,292 円 (50 万円) 客数 506 名 寄付 89 名
1 月 (18)	初売り 生地半額: 文具半額: マフラー・ストール・帽子半額:	1 月 5 日(金) 5-12 日 22-2/2 日 5-19 日	・初売り 1 月 5 日(金) 目標 10 万円 実績: 121,979 円(98 人) ・新スタッフの研修 ・JIM-NET チョコ募金 17,200 円 ・能登半島地震緊急支援募金開始	488,121 円 (50 万円) 客数 485 名 寄付 97 名
2 月 (19)	手芸品まつり 詰め放題	5-9 日	・手芸品まつり: 5-9 日 詰め放題 1000 円 ・手芸品半額: 5-16 日 ・衣類 3 枚で半額販売 21-28 日	385,109 円 (40 万円) 客数 416 寄付 94 名
3 月 (19)	創業祭 13-15 日 3.11 を忘れない なつかし昭和レトロ 26-29 日		・11 日の売上全額寄付: 15,918 円 ・創業祭売上げ実績: 190,0971 円 ・3.11 売上げ: 15,918 円 募金: 7,622 円 ・能登半島地震募金 36,100 円 ・YCV チャンネル「地域発信バラエティ のんびり行こう」で紹介される(2 回目)	457,446 円 (60 万円) 客数 496 人 寄付 87 名

衣類 1971,342 円 (目標 230 万円) 雑貨 2,313,868 円 (目標 240 万円)

リメイク 575,342 円 (目標 50 万円) 着物 639,118 円 (目標 80 万円)

【天王町店活動報告】

年間売上げ実績: 5,933,039 円 (目標 610 万円 目標比 97.2% 前年比 101%)

営業日数: 238 日 (前年比 103 %) 客数: 7857 人 (月平均 655 人 前年比 108.4%)

寄付者数: 1218 人 (新規 46 人 前年比 95.2%)

ショップボランティア延べ人数: 666 人 (月平均 56 人 前年比 101%)

- 1) スタッフ 4 人体制でショップ運営を行いました。毎月スタッフミーティングを開催し、現在の状況を確認して、その月の目標に達成するように話し合って運営しました。保土ヶ谷区社協からの紹介でボランティアが 2 名増え

ましたが、まだボランティアの不足しているのは課題です。

- 2) フェアトレードフェアを年2回(5月15日(月)～20日(土) 12月4日(月)～16日(土))開催しました。
5月のフェアには Act for Child の品物を委託販売し、いつもと違う雰囲気が出せました。
フェアトレード品の常設は、支援を身近に話すきっかけとなりますが、売上が少ないと仕入れができず、フェアトレード品が少なくなった月がありました。
- 3) 「3・11を忘れないキャンペーン」では、東北支援品も販売しました。海産物仕入先のムラカミとの取引も6年となり、毎回楽しみに買いに来てくださる方も多くいます。珈琲工場&百屋のカレーは岩手県宮古市の障がい者施設で製造されています。ムラカミ、百屋から9月、3月に仕入れ販売しました。
- 4) 7月の創業祭、11月の秋冬感謝セール、1月の初売り、3月の春待ちワクワクセール等のイベントを企画し、その他にもプチセールを開催しましたが、顧客数、寄付品等の減少が課題として残りました。
7月の創業祭には、500円以上お買い上げのお客様に、8月に使える感謝券をプレゼントしました。
- 5) 資源を生かす取り組みとして、前年度に引き続き、廃油の回収、羽毛の回収を実施しました。
- 6) 朝市街道の地場野菜販売は、声かけに努め固定客もありますが、売り切れずにメンバーが対処することもありました。
- 7) 「NPO 法人きてんートラック」にリメイク素材として綿のTシャツフリース、「特別養護老人ホーム ラポール三ツ沢」に新聞、タオル、シーツ等、物品寄付に協力しました。
- 8) 就労支援受け入れでは、ワーカーズ・コレクティブ協会から1名、3期(2023年7月～2024年3月)を受け入れました。

売上げ実績(目標)

4月 (21)	雑貨半額 10-15日 食器・台所・花瓶半額 24-28日 商店会フリマ参加 23, 24日	・久々の商店会フリーマーケット参加	477,421円 (50万円) 客数 672名 寄付 121名
5月 (20)	コロナ5類移行 (スタッフ・ボラのマスク着用は 継続を推奨) フェアトレードフェア 15-20日 (目標 5万円) 衣類半額 22-30日	・フェアトレードフェアでは、Act for child の ハンディクラフト品も販売 売上 44,595円	461,319円 (50万円) 客数 566名 寄付 115名
6月 (22)	アクセサリフェア 1-10日 ガラス製品半額 16-4日 ボランティアポイントカード開始 1日～	・アクセサリを正面にディスプレイしたことでよく 売れた ・ガラス製品はこの時期に出すと有効 ・新規ボランティア1名登録 ・就労支援受け入れ ・トルコ・シリア大地震募金 10日まで 5,717円	516,342円 (45万円) 客数 628名 寄付 112名
7月 (21)	創業祭 6-8日 (目標 25万円)	・創業祭 実績 274,421円(303人) 感謝券配布枚数 178枚 マスクプレゼント	575,306円 (55万円)

	50%off 感謝券配布 (500 円以上お買い上げの方) タオル/ハンカチ半額 13-29 ワンピース半額 24-31 日	・JCSN 視察受け入れ (30 日) →視察受け入れに向けてバックヤードの整理	客数672名 寄付 90 名
8 月 (18)	感謝券使用期間 核廃絶キャンペーン 1-31 日 夏季休業 11-16 日 夏物衣類・手芸品半額 28-9 日 ガラス処分コーナー	・感謝券回収枚数 93 枚 ・核廃絶キャンペーン 8 月 7 日売上げ寄付 35,720 円 募金 20,780 円 ・朝市街道休み	382,943 円 (44 万円) 客数420名 寄付 83 名
9 月 (19)	東北支援品販売 (目標 7 万円) 食器・台所用品半額 11-6 日 雑貨半額 19-30 日	・東北支援品販売 68,341 円 ・台風接近のため 8 日(金)臨時休業 ・新規ボランティア 1 名登録(高校生)	400,186 円 (45 万円) 客数 537 名 寄付 82 名
10 月 (21)	アクセサリ半額 衣類半額 27-11/4	・貧困なくそうキャンペーン 17 日(火)売上げ寄付 31,177 円 店頭募金 5,373 円 フードドライブの実施 ・東北支援品販売 5,100 円 ・アクセサリ半額 23-31 日	509,199 円 (60 万円) 客数 686 名 寄付 126 名
11 月 (19)	秋冬感謝セール 20-25 日 (目標 30 万円)	・秋冬感謝セール 実績:314,881 円 客数 400 人 ・ほどがやサンタプロジェクトシルラリー参加 11/10~12/10 ・秋・冬感謝セール: 20, 21, 24, 25 日 売上げ実績:314,881 円 客数 400 人	583,085 円 (66 万円) 客数 737 名 寄付 133 名
12 月 (19)	フェアトレードフェア 4-16 日 (目標 5 万円) コート類半額 冬季休業 27-1/4	・フェアトレードフェア 4 日(月)~16 日(土) 実績:47,156 円	520,096 円 (50 万円) 客数 595 名 寄付 105 名
1 月 (18)	初売り 1 月 5 日(金) 6 日(土) JIM-NET チョコ募金 礼服半額: 22 日~ マフラー半額: 9-20 日 手芸品半額: 22-30 日 防 寒着赤札販売	・初売り 1 月 5 日(金)6 日(土) 目標 10 万円 実績:175,254 円(219 人) ・JIM-NET チョコ募金 18,000 円 ・能登半島地震緊急支援募金 ・27 日(土)は平和村ユナイテッド報告会のため 13 時~営業。報告会会場でフェアトレード販売	480,373 円 (50 万円) 客数 619 名 寄付 72 名

2月 (18)	衣類半額 5-17日 雑貨半額	・6日(火)雪のため臨時休業 ・衣類半額:5-17日 ・雑貨半額:19-29日 ・衣類 500 円の詰め放題 19日	406,273 円 (50 万円) 客数 538 名 寄付 82 名
3月 (21)	3.11を忘れない 春待ちセール 19,22,23日 なつかし昭和レトロ	・11日の売上全額寄付:22,930円 ・春待ちセール売上げ :193,270円 ・3.11 売上げ:22,930円 募金:7,685円 ・能登半島地震募金: 25,200円 ・東北支援品販売:70,180円(166点)	620,496 円 (50 万円) 客数 733 名 寄付97名

衣類 2,827,266 円(目標 280 万円) 雑貨 2,533,871 円(目標 270 万円)
WEトレード 571,902 円 (目標 60 万円)

2. 売り上げアップにつながる新たな顧客の確保をめざし、11月に短期集中の顧客拡大対策チームを結成しました。チームメンバーで、より良いショップづくりに向けた様々な意見を出し合いました。すぐに成果を出すことは難しいですが、関係者・関係団体を広げるための方策を次年度に向けて理事会へ提案しました。
メンバー5名 ミーティング4回(11月29日、1月10日、2月7日、3月6日)
3. WEショップが居心地のよいチャリティショップであるために、バックヤードの整理整頓を心がけました。
7月には天王町店のバックヤードを中心に、協力して片付けました。
4. 寄付品を有効に活用するため、リユース・リサイクル部会で情報収集のうえリメイク品の企画開発に努めました。
・リメイク売上 575,342 円(目標 50 万円 115%)
・リメイクチーム作業&打ち合せ会 9月26日(火) 1月16日(火)
・ほどがや街の応援隊の活動 PR 展でリメイク品を展示 8月15日～28日(アーバンアートほどがや)
・WE21 ジャパン着物・リメイクフェアに出店 1月30・31日(県民センター) 売り上げ 58,300 円
・ほどがや生涯学習まなぶんフォーラム・リメイク品の販売 11月27日(月)28日(火)(区役所会議室)
展示 2月22日～3月6日(アーバンアートほどがや)
・ほどがや街の学習応援隊 リメイク展示 3月1日～ (ほどがや市民活動センターアワーズ)
・リメイク WE 講座の開催 参加者 12 名 3月2日(土)10:00-12:00 星川店にて

「かんたん！たのしい！ヒントがいっぱい おしゃれにアップサイクル」

テーマは初めての企画、参加者のアイデア溢れた作品発表と、材料としてファイバー品も携え意見交換。
新たな作品への多くの意見に次へのステップとなりました。

- ・地域や次世代へのアピールを目指し Instagram を立ち上げました。フォロワー 126 人
今後は、メンバーが自ら情報を受発信できるように取り組みます。

5. 星川店の着物常設コーナーの認知を広げ、着物の良さがより多くの人に伝わるように情報発信に努めました。
・着物売上げ 639,118 円(目標 80 万円 79 %)
・リユース・リサイクル部会と連携して着物の数や季節に応じた入れ替え、ディスプレイ、リメイク材料への仕分けなどを計画的に行いました。
6. 廃食油、羽毛製品、ケータイ電話の回収をすすめ、リサイクルによる CO2削減をすすめました。

HP などの情報を得て、回収に協力する方も増えています。ショップの顧客にもなっていただくことが課題です。

・廃食油回収量 星川 160kg(CO2 削減量 416kg) 天王町 225kg(CO2 削減量 585kg)
(前年回収量 星川 220kg 天王町 190kg)

・羽毛製品回収 布団 31 枚(前年 32 枚) 星川 12 枚 天王町 19 枚
コート50枚(前年 46 枚) 星川 31 枚 天王町 19 枚

・ケータイ回収(めぐりケータイ)

ケータイ、ノートパソコン、カメラ、電子辞書、CD デッキ、アダプター プラグ、ジャックなど 31 点

7. 緊急時や災害時に備え、定期的にショップの危機管理対策の確認や整備に努めました。

・9 月 1 日(金)防災の日 LINE、E メールにて災害緊急連絡態勢を確認

・9 月 8 日(金)台風接近の恐れで臨時休業

・2 月 6 日(火)雪のため天王町店は臨時休業

8 引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策に取り組み、安心安全を優先にした営業を心がけました。

・5 月 8 日からの 5 類移行にともない、アクリル板を撤去し、スタッフ・ボランティアのマスク着用は推奨としました。

【日時】通年

【場所】WE ショップほどがや星川店・天王町店・その他保土ケ谷区内

【従事者人数】理事 10 人・ショップスタッフ7人 リユースリサイクル部会6人 リメイクチーム 9 人

【受益対象者】主に保土ケ谷区内の市民

【支出額】11,314,586 円

II アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業 (民際協力事業)

国内外の草の根の人々の暮らしの向上、環境の改善、人権尊重、平和の構築などの事業に、資金および情報発信などで協力しました。

1. 世界で起きている問題にアンテナを張り、支援・平和チームを中心に情報収集に努めて、必要なプロジェクトを理事会で決定し、ショップの収益、募金、寄付金を活用して支援を行いました。

・トルコ・シリア大地震緊急支援募金(6/10 で終了) 12,500 円(認定 NPO 法人 ADRA)

・アフガニスタン女性教育 50,000 円 (平和村ユナイテッド)

・チョコ募金 35,200 円(JIM-NET)

2. 以下のキャンペーンを実施しました。

1) 平和への歩みをすすめるために、8 月に「核廃絶キャンペーン」で店頭募金を実施しました。

また、原爆記念日に寄せて、1 日分の売上全額を核廃絶に取り組む若者たちの 2 団体へ寄付しました。

・KNOW NUKES TOKYO 寄付 26,795 円 募金 22,005 円

・一般社団法人かたわら 寄付 26,795 円 募金 22,005 円

2) 10 月に「貧困なくそうキャンペーン」を実施しました。

貧困問題に取り組む団体の活動情報を伝え、10月17日の売上全額寄付と店頭募金で生活に困窮している

人たちへの支援を呼びかけました。

・自立生活サポートセンターもやい 寄付 57,593 円 募金 14,407 円

・フードドライブ 保土ヶ谷区社会福祉協議会にダンボール 3 箱を寄付。

3) 福島原発事故の被災者支援を継続し「3.11 を忘れない」キャンペーンで 3 月 11 日の売上げ全額寄付と通年の店頭募金を実施しました。3 月には「福島ぽかぽかプロジェクト」の写真を店内に掲示し、活動の様子を伝えました。また、東北の産品を販売して復興を支援しました。

・福島ぽかぽかプロジェクト 年末寄付 40,000 円(募金)

3.11 売上げ寄付 38,848 円 募金 15,307 円

・東北支援品販売 9月1日～10月 売上げ 73,441 円(目標 7 万円)

2月29日～ 売上げ 70,180 円(166 点)

3. 支援プロジェクトの活動報告会を開催しました。

・平和村ユナイテッド報告会 1月27日(土)10:00-11:45 参加者 18 名 会場募金 20,000 円

テーマ:アフガニスタン「女性たちの学校」とパキスタンの平和活動

講師: 小野山亮さん(平和村ユナイテッド代表)

2021 年 8 月にタリバンが政権を握ってから、女性の権利が次々と制限され小学校の教育しか受けられないというアフガニスタンの現状と、パキスタン・アフガニスタン国境地域で平和をめざす青年たちの活動状況を伺いました。「それでも私は学びたい」という勇気あるアフガニスタンの女性たちが学びの場を作り、夢と希望を持って学び続けている姿やパキスタンの青年たちの地道な平和活動に、「これから先」に向けた強い意志を感じる報告会でした。

4. 市民がフェアトレード品への関心を高めるために、WE ショップでのフェアトレード品の販売をすすめました。

フェアトレードをわかりやすくアピールすることに努めましたが、仕入れ金が捻出できずフェアトレード棚の常設品が少なくなったこともありました。

・天王町店にてフェアトレードフェアを開催しました。

5 月 15 日(月)-20 日(土)売上実績 44,595 円 12 月 4 日(月)-16 日(土)売上実績 47,156 円

5. フェアトレード食品を、適正な管理に沿って販売しました。

【フェアトレード品・物産品の取り組み】

- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| ① 森育ちのしょうがパウダー | フィリピン (ウバパス・ダイヨコン・ランバダ住民組織 シェントック財団) |
| ② 森育ちのしょうがクッキー | フィリピン (夢21福祉会まどか工房/WE21 ジャパン) |
| ③ コーヒー・チキンカレー | 東ティモール・ラオス・ペルー・フィリピン・岩手県 (珈琲工場&百屋) |
| ④ チョコレート・ドライフルーツ | ペルー・ボリビア・カリフォルニア (ピープルツリー) |
| | ドミニカ共和国・パラグアイ・インド (第3世界ショップ) |
| ⑤ 紅茶・ジャム | インド、マラウィ (わかちあいプロジェクト) |
| ⑥ オリーブオイル・石けん | パレスチナ (パレスチナ・オリーブ) |
| ⑦ 少数民族の手作りの品 | タイ (Act for Child) |
| ⑧ 廃食油リサイクルハンドソープ | 東京 (株)ユーズ |
| ⑨ 東北物産品 | 宮城県(気仙沼) (ムラカミ) |

6. 広報チームと協力し、民際協力の情報をわかりやすくお客様に伝わるように、2022 年度支援・リユース・リサイクル報告の店内掲示やミニチラシを配布しました。
7. 情勢に応じて緊急支援を行いました。
- ・トルコ・シリア募金 4月1日～6月10日(昨年度からの継続)
 - ・能登大地震緊急支援募金 1月11日～3月23日
- 2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震で被災した人たちへの緊急支援として、店頭募金を実施し、多くの方にご協力をいただきました。未来に向けたまちづくりを目指して活動している「能登復興ネットワーク」に寄付しました。
8. 同じプロジェクトを支援する WE21 グループの地域 NPO と連携して情報を共有しました。
- ・核廃絶を目指す若者たちの活動に賛同する WE21 ジャパングループの6地域 NPO で情報を共有し、一般社団法人かたわら代表の高橋悠太さんから、核廃絶運動の現状を伝える報告会の場をもちました(1/29)

2023 年度 助成金の決定 (2024 年度実施事業)

カンボジアで有機栽培を通して「ゆたかで幸福なコミュニティ(S3)」を構築するプロジェクト	ボンロック・バイトーン有機農園学校 (カンボジア)	100,000 円(助成金)
アフガニスタン緊急「女性たちの学校」にユナイト!	一般社団法人平和村ユナイテッド (アフガニスタン)	90,000 円(助成金) 30,000 円(募金)

- (1)有機農業を通して「ゆたかで幸福なコミュニティ(S3)」を構築するプロジェクト(カンボジア)
活動団体:ボンロック・バイトーン(緑の芽)有機農園学校 実施期間:2024 年 4 月～2025 年 3 月
助成金額: 100,000 円
決定の根拠: ① カンボジアの小農家が出稼ぎに依存せずに農業で生活していけるよう、農家の能力育成とマーケティング支援を行っている。
② 米生産からの収入を向上させるために、米農家との協働に重点を置き、追加収入として他の作物の生産を増やそうとしている。
③ 実演内容を映像化し、ソーシャルメディアを通じて、農家に広く共有される計画を立てている。
- (2)アフガニスタン緊急:「女性たちの学校」にユナイト! ～女性教育制限下の「学校」という決意、希望～
活動団体:平和村ユナイテッド 実施期間:2024 年 4 月～2025 年 3 月
助成金額: 90,000 円 店頭募金 10,000 円 会場募金 20,000 円 合計 120,000 円
決定の根拠 ① タリバン政権下で義務教育だけしか受けることができず、教育の機会を奪われた女性達の絶望感は深く、将来的な社会・経済参画の機会も奪っている。
②こうした状況のなかでも学びたい女性達は多く、民間の「学校」が運営されていることは女性たちにとって大きな希望である。
③将来、社会・経済に参画する夢と希望を持つことは生きる力にもつながり、現状を変革し権利や多様性の保障を通じて平和をつくる活動ともなっている。

2023 年度 支援金・募金の報告

認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい ◆10 月貧困なくそうキャンペーン	72,000 円 ・57,593 円 (10/17 売上全額寄付) ・14,407 円 (10 月店頭募金)
福島ぽかぽかプロジェクト (認定 NPO 法人 FoE Japan) ◆福島の子の養育プログラム支援	94,155 円 ・38,848 円 (3/11 売上全額寄付) ・55,307 円 (通年の店頭募金)
KNOW NUKES TOKYO ◆若者たちの核廃絶に向けての活動への支援	48,800 円 ・26,795 円 (8/7 売上寄付) ・22,005 円 (8 月店頭募金)
一般社団法人かたわら ◆核廃絶に向けたアドボカシー活動	48,800 円 ・26,795 円 (8/7 売上寄付) ・22,005 円 (8 月店頭募金)
特定非営利活動法人 JIM-NET ◆チョコ募金(1 月～2 月)による支援 (日本イラク支援ネットワーク)	35,200 円 (店頭募金)
国際 NGO ADRAJapan ◆トルコ・シリア大地震緊急支援募金	12,500 円 (店頭募金 2023 年 4 月～5 月) ※2022 年度は店頭募金 51,500 円を寄付しました
能登復興ネットワーク ◆能登半島地震緊急募金	61,300 円 (店頭募金)1 月～3 月)
保土ケ谷区社会福祉協議会	フードドライブ、物品寄付(マスク 食料品)
NPO 法人きてん トラック	物品寄付(リメイク作業用 T シャツ)
放課後等デイサービス はるの家	物品寄付(文房具)
特別養護老人ホーム ラポール三ツ沢	物品寄付(介助用タオル、カット新聞)
フェアトレード品、東北物産品仕入れ販売による 生産者支援	571,902 円(売上げ) 444,178 円(仕入れ費)

寄付金 340,031 円 募金 252,724 円 合計:592,755 円

フェアトレード品・東北物産品仕入れによる生産者支援 444,178 円

支援先団体の活動について

(1)認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい

毎週土曜日に行われている都庁下での食料配布による支援活動では、700 人以上の方が訪れる状況になっています。子ども連れや若い女性の姿も見られるようになったことから、今年度は、子育て世帯や单身女性を対象とした『交流型のフードパントリー』を、新宿区社会福祉協議会や文京区の子ども宅食プロジェクトと連携しながら、もやいの所在地(山吹町)近くで実施するなど、地域に根ざした新しい挑戦が始まっています。また、厚生労働省

に対して「生活保護制度の改善および適正な実施に関する要望書」をもやい単独で提出(2017 年より実施)するなど、「日本の貧困を社会的に解決する」という考えのもと、社会や政策の変化に向き合い一人ひとりの声を丁寧に聞きながら、活動を展開しています。

(2)福島ぽかぽかプロジェクト(認定 NPO 法人 FoE Japan)

2012 年 1 月より始まったプロジェクトで、福島第一原発事故以後、放射能汚染が少ない地域に一時的に子供たちを受け入れる「保養」に取り組み、現在も多くの子供が参加して 12 年間で参加者数は 5,000 名以上となりました。子供たちに思いきり野外で遊んでもらい、親たちには、リラックスして普段語れない不安や疑問について語り合い共有する場を提供してきました。23 年度は 4 月初めに「水俣・長崎学習旅行」を実施。6 家族 17 名が参加し、被害者のお話や同年代の方々との交流会など、普段は出来ない貴重な体験を通じて、多くのことを学んできました。猪苗代にある「ぽかぽかハウス」を拠点に、夏は湖水浴やカヌー体験、冬はスキーやスケート、スノーボード等で楽しみ、10 回の保養を実施。初めの頃に参加していた子供たちも大きくなり、今ではボランティアで参加しています。

(3)KNOW NUKES TOKYO (ノー・ニュークス・トーキョー)

核兵器のない世界をめざして活動する若者たちの団体で、核の問題を被爆地ではなく東京で考える場所をつくりたいと、2021 年(大学生を中心に)発足しました。現在地球上に約 13,000 発もの核兵器の脅威がある世界を、一人一人「個」の存在を大切に出来る社会に変えたいというビジョンを基に、核兵器廃絶への意識を高めるイベントの開催や国会議員、地方自治体の首長や議員との対話活動を進めています。今後は活動を持続的に展開するために事業化への挑戦を始めています。

(4)一般社団法人かたわら

KNOW NUKES TOKYO を卒業した代表が、核にかかわる調査報道と、地域に根ざしたロビーイングを行う拠点として立ち上げました。学校などへの講演活動を中心に、核兵器をなくす国際会議へのかかわりや、沖縄・長崎・広島をつないで、戦争体験の継承について考えるイベントなど他団体との連携をもとに、平和への取り組みをすすめています。

(5)特定非営利活動法人 JIM-NET

イラク小児がん支援、シリア難民支援、福島の子どもたちを放射能から守る活動の支援、JIM-NET ハウス(小児がん総合支援施設)の運営などを行っています。チョコ募金では 550 円以上の募金をしてくださった方へ医療を受けている子どもたちが絵を描いたチョコレート缶をお渡ししました。

(6)能登復興ネットワーク

震災以前より有事に備えた能登地域の見守りネットワークづくりをしています。震災以降も、能登が能登らしく復興する未来をつくるために、災害支援と持続可能なまちづくりのコーディネートを担い、能登地域をはじめ石川県の関係団体の連携強化および人材育成を図っています。

(7)認定 NPO 法人 ADRAJapan

世界約 120 か国に支部を持ち、紛争・災害被災地や途上国において一人ひとりに寄り添う活動に取り組んでいる NGO で、トルコ・シリア大地震では主にシリアの拠点を中心に、医療支援や子どもたちの学習支援を継続的に行っています。

【日時】 通年

【場所】 横浜市保土ケ谷区

【従事者人数】 理事 10 人・ショップスタッフ 7 人 支援チーム 6 人

【受益対象者】 市民 支援先の住民

【支出額】 598,259 円

Ⅲ 地域市民の国際的な問題意識の向上を図る事業(共育事業)

1. 国内外を問わず社会で起きている問題や、市民に関心のあるテーマで WE 講座を開催しました。

・平和村ユナイテッド報告会 1月27日(土)10:00~11:45 参加人数 18 名

店頭でチラシを配布したことで、お客様の参加もありました。

2. 情勢に応じてショップに募金箱を設置し、募金先の情報を的確に伝え、寄付文化を広げる取り組みをしました。

・核廃絶キャンペーン募金箱 ・福島ほかほか募金箱

・アフガニスタン女性教育募金箱 ・チョコ募金

3. 連携する団体の講座や企画に参加しました。

・WE21 ジャパン WE 講座「日本のかたちが変わる ～他国への武器輸出～」

9月24日(日) 4 名参加 ほどがや会員 1 名 お客様 1 名(チラシから情報)

・JCSN オンライン連続研修 「共感を生みだす店づくり～デザインの視点から」

9月15日(金)19:00~20:30 POP やアップサイクルの工夫

9月26日(火)19:00~20:30 店舗デザインの基本、ディスプレイの工夫

・高橋悠太さん(一般社団法人かたわら代表)活動報告会

1月29日(月) 2 名参加

4. 国内外で起きている問題を市民に伝え、考える企画を検討します。

・2011 年から WE 油田として回収に取り組んでいる廃食油のリサイクルの現場、(株)ユーズ「染谷商店」を見学しました。ユーズ社長の染谷さんから、新たな廃食油の再資源化プロジェクトの話も伺い、希望と元気をいただきました。(3 月 21 日(木)参加人数 14 名)

【日時】通年

【場所】主に横浜市保土ケ谷区

【従事者人数】理事 10 人 ショップスタッフ 7 人 支援チーム 6 人

【受益対象者】市民 支援先の住民 会員 ボランティア

【支出額】 16,278 円

IV WE21 ほ도가や事業の広報普及を図る事業(広報事業)

1. WE21 ほ도가やの活動を地域市民に広く知らせるために「ほ도가やニュース 70 号」を発行しました。お客様がチャリティショップを身近に感じられるよう、広報チームを中心に活動を魅力的に伝える紙面づくりを心がけましたが、年 1 回の発行にとどまりました。(9月 600 部)
2. 来店者に活動内容や、情報をわかりやすく伝えるために支援先やリユース・リサイクル活動報告を掲示しました。より見やすく、来店者の目にとまる掲示の工夫が必要です。
3. セールやイベント、キャンペーンチラシは、広報チームとショップスタッフや支援チームと連携して作成しました。
 - ・ フェアトレードフェアや着物フェア、セールなどのイベントチラシ
 - ・ 2022年度ショップのリユースリサイクル活動報告ミニチラシ(6 月)
 - ・ 寄付品チラシ(200 枚) 横浜みなみ生活クラブ生協保土ヶ谷/西コモンズ大会で配布(2 月)
 - ・ 三つ折りパンフを増刷(500 部)(2 月)
4. WE21 ジャパン・ほ도가やのリメイク作品の認知を広げるため、Instagram を開設しました。
フォロワー 126 人
5. WE21 ほ도가やのホームページや Facebook、Instagram で、速やかで効果的な情報発信に努めました。
 - ・ WE21 ほ도가や HP の更新 星川店18回 天王町店16回 お知らせ欄15回
 - ・ Facebook の発信 24回 99人いいね フォロワー116人(昨年より10人増)
6. 会員・ボランティア・寄付者へ、活動報告や情報提供を行いました。今後は郵送料削減のため、可能な方たちにはメールでの発信に移行します。
 - ・通常総会案内 議案書、振込み用紙送付(5 月)
 - ・総会報告 2022 年度リユースリサイクル・支援報告(6 月)
 - ・2022年度 WE21 ジャパン年次報告書(60 部)、貧困なくそうキャンペーンチラシ(9 月)

【日時】通年

【場所】主に横浜市保土ヶ谷区 神奈川県

【従事者人数】理事 10 人ショップスタッフ7人 広報4人

【受益対象者】市民

【支出額】58,620 円

V 事業を実践するための組織活動

1. 持続可能な組織づくりのため、組織の充実と活性化を図り、経営基盤の強化を図りました。
 - 1) 理事会を定例開催し組織運営能力、活動推進力を高めるように努めました。
 - 2) 各チーム、部会を定例開催し、組織の活性化を図りました。
 - ・リユース・リサイクル部会 6回(6/28,8/23,10/18,12/20,2/21)
 - ・リメイクチーム 2回(9/26,1/16)
 - ・支援・平和チーム 9 回(6/28,7/26,9/1,9/27,11/22,12/20,1/24,2/21,3/27)
- 9 月からスタッフ 1 名がメンバーに参加しました。

・顧客拡大対策チーム 4回(11/29、1/10、2/7、3/6)

3) 会員拡大をすすめ、目標には達しませんでした、昨年度より増やすことができました。

正会員拡大目標: 個人(年間 2,000 円) 53人(目標60人、前年比4人増)

団体(年間 6,000 円) 0 (目標1団体)

賛助会員拡大目標: 個人(年間 1 口 500 円) 28口(19人)(目標50口、前年比3人増、10口増)

団体(年間 3,000 円) 1団体(目標 2 団体)

4) 活動への賛同と寄付の呼びかけを行いました。

寄付者 9 名 299,741 円

5)認定 NPO 法人更新の手続きをすすめました。

・12 月 15 日(金) 天王町店にて実態確認

・ 2 月 19 日(月) 2024 年 3 月 1 日~2029 年 2 月 29 日更新通知を受理しました。

6) 2023 年 10 月からのインボイス制度に対応し、課税事業者として登録しました。

・登録番号を取得し、レジ印字の対応をしました。

2. スタッフの雇用をすすめました。

1) スタッフと雇用契約を結びました。

・10 月から時給を 1,112 円に改定しました。

・12 月にスタッフ 1 名が退職し、1 月から新スタッフを採用しました。

2) 業務内容に則り、代表者がスタッフ7名との面談を実施しました。

・10 月 31 日~11 月 15 日

3) ショップ運営を円滑にすすめるために、ショップスタッフミーティングを毎月開催し、理事会に報告、提案を行いました。理事会との拡大ミーティングは実施できませんでした。

3. ボランティアの参加拡大、交流に努めました。

1) 新たなボランティアの拡大に努めました。

保土ヶ谷区社協からの紹介で、星川店 2 名、天王町店 2 名、ボランティアが増えました。

天王町店はさらなる拡大が必要です。

2) ボランティア、チームメンバー同士のコミュニケーションの場の企画はできませんでした。

・ボランティアの福利厚生として、ボランティアポイント制度を開始しました。2 時間以上のショップボランティア 25 回で 500 円分のお買い物ができるポイントカードをお渡ししました(6 月 1 日~)

ポイントカード利用 29回

4. 事務局・会計担当者と業務委託契約を締結しました。

・4 月~9 月業務契約

5. web 会計に 8 月から変更し、入力学習会を経てスタッフの入力担当者を決め、会計作業の共有化をすすめました。

・10 月からレジを内税設定に変更しました。

・インボイス制度開始にともない、レシートに登録ナンバーの印字対応をしました。

6. WE ショップほ도가やの今後の方向性について意見交換の場をつくりました。

時勢に応じたショップのあり方を考え、今後の方向性を考えるため、5月の総会後の企画でディスカッションの場を設けました。その後、理事会で個別の議論は行いましたが、改めて活動全体の方向性について議論の場を持

つことはできませんでした。意見をどのようにまとめ、実践していくかが今後の課題です。

7. WE21 ジャパン地域NPO, 生活クラブ運動グループ、地域の団体と連携してまちづくりを進めました。

1) 地域に住む多様な人々、福祉施設や作業所、保土ケ谷区社会福祉協議会、保土ケ谷区役所・ほどがや市民活動センター アワーズ・横浜みなみ生活クラブ生協保土ケ谷/西コモンズなどと連携し、相互に理解しあえる仲間づくりをめざしました。

- ・日本チャリティショップネットワーク(JCSN)からの視察に星川店、天王町店で協力しました。(7月30日)
- ・保土ケ谷区のごみ焼却施設再整備について、三菱重工環境・化学エンジニアリングのヒアリングに協力しました。(9月12日)
- ・ワーカーズコレクティブ協会より就労支援事業受け入れの現場としての説明依頼があり、協力しました。(10月5日)
- ・イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」の2023年度上期の贈呈式に参加し13,400円の贈呈を受けました。消耗品の購入に活用しました。(10月11日)
- ・殺傷武器輸出に反対する共同声明の賛同団体になりました。(10月11日)
- ・NGOによる外務省への要請文：ガザに即時停戦のメッセージの賛同団体になりました。(11月7日)
- ・生活クラブ生協神奈川「第10回 東日本大震災・復興まつり ～ともに生きよう！2023」に協賛しました。(11月18日)

2) チャリティショップとして、ショップの寄付品を提供して地域でのたすけあいに寄与しました。

NPO 法人きてんトラックヘリメイク素材として綿のTシャツ、「特別養護老人ホームラポール三ツ沢」へタオル、シーツなどの物品寄付に協力しました。

3) 若い世代、子育てファミリー層にもチャリティショップを利用し、参加してもらえるような工夫を心がけましたが、まだまだアピールに工夫が必要です。

4) 認定NPO法人 WE21 ジャパンとは事業の受託、委託に関する基本契約を結び、また他の WE21 ジャパン地域 NPO とも連携し、WE21 ジャパン・グループとしての運動をすすめました。

- ・2023年度 WE21 ジャパン合意による物流事業費・商標使用料・ネットワーク推進費(月額)
物流事業費合計 805,640 円(税込) 商標使用料 243,320 円
ネットワーク推進費 15,400 円 合計 1,064,360 円(月 88,697 円)
- ・WE21 ジャパンアニバーサリーフェスタにボランティアとして5名参加しました。(11月2日、3日)
- ・WE21 ジャパン着物・リメイクフェアに全体ボランティア4名、リメイク出店に4名参加しました(1月30、31日)
- ・WE バザール in 相模大野にボランティアとして1名参加しました。(3月16日、17日)

5) WE ショップを職業体験や就労体験の場として受け入れに貢献しました。

- ・星川店2名 天王町店1名

6) 星川商店会、天王町商店会に加入し、情報を共有しました。

7) ほどがや生涯学習フォーラムまなぶん祭り実行委員会に参加しました。

- ・まなぶんフォーラム 活動パネル展示、リメイク品販売、活動PR集の作成(11月27日、28日)
- ・アーバンアート保土ケ谷で活動紹介パネルとリメイク品を展示(2月22日～3月7日)

8) ほどがや市民活動センター アワーズの協働運営会議に参加しました。

- ・交流会参加 9月2日 ポスターチラシ作品展に参加 3月 「ぶらり星川まち歩き」に参加(3月9日)

9) 保土ケ谷区魅力ある地域まちづくり事業「ほどがや 人・まち・文化振興会」に参加しました。

・週に1回、ショップで地場野菜の販売協力(朝市街道・ほどがや産直便)を行いました。

10) 月2回(1日、21日)、横浜市内在住65歳以上の方対象の割引制度「濱ともカード」の利用の日として、10%割引としました。星川店は、濱ともカードの日のリメイク品購入が増えました。

11) 横浜市子育て家庭応援事業「ハマハグ」の登録更新を行いました。

【日時】通年

【場所】主に横浜市保土ケ谷区

【従事者人数】理事10人 ショップスタッフ7人

【受益対象者】市民 会員 ボランティア

【支出額】 535,561円

以上